

令和6年度

事業計画書

（ 令和6年4月 1 日から

令和7年3月31日まで



登別商工会議所

令和6年度事業基本方針

近年の円安傾向やロシアのウクライナ侵攻、中東の治安悪化等の影響によるエネルギー・原材料の高騰に伴い物価の上昇傾向が続くなど、国内の中小・小規模事業者を取り巻く環境は大変厳しい状況が続いています。

一方、日経平均株価が史上最高値を更新し、好業績の輸出型大企業と地方の中小・小規模事業者間の温度差がこれまで以上に拡大しています。

また、国立社会保障・人口問題研究所の将来人口推計（令和5年度推計）によると、登別市の人口は、約5年後の2030年になる頃には4万人を割り込み、それから更に15年後の2045年頃には3万人を割り込むという衝撃的なものとなっています。

この人口推計結果は、「そうなるかもしれない」という不確定な要素の強いものではなく、今のまま何もせず時間が経過すると、「ほぼそうなる」というより実現性の高い数値です。

今後急激に登別市の人口が減少していき約20年後に登別市の人口が3万人以下にまで減少するという現実から目を背けることはできません。我々はこの変化（現実）に対応し、あるいは適応することで生き残っていく必要があります。

人口の減少と高齢化がもたらす労働力不足という課題には、外国人材の活用やDXによる効率化が必要不可欠となるでしょう。

また、まちの経済を守っていくためには、地域の特性や優位性を活かした新たな稼ぐ力が必要です。

このような状況を受け止め、令和6年度の登別商工会議所は3本の大項目を事業の柱とし、更にその中で4つのテーマに重点を置くことで、地域の企業が抱える課題解消に向けた支援に取り組みます。また、引き続き会員の皆様に寄り添った経営安定化の支援を行うとともに、会議所組織の機能強化に努めて参ります。

令和6年度事業計画

1. 地域経済活性化事業の推進

- ① (1) 企業の労働力不足を補う外国人材の活用を支援
- ① (2) DX推進による事業環境の変化への対応を支援
- (3) 起業・創業者など今後の地域経済を担っていく人材の育成と支援
- ① (4) 地域特性を活かした新たな観光関連ビジネスの調査研究
- (5) 中小、小規模事業者へのSDGs(持続可能な開発目標)の普及啓発事業の実施
- (6) カーボンニュートラルの実現に向けた知識の普及啓発事業の実施
- (7) 地域経済の振興発展を促す諸施策に関する要望活動の実施
- (8) 企業版ふるさと納税獲得による人口減少など地域課題解決に向けた事業の推進
- (9) 中央地区・登別地区の公民連携によるまちづくりの推進
- (10) 鬼まちペイなど地域消費喚起事業への連携推進
- (11) 日本工学院北海道専門学校を中心とした「地域未来共創プロジェクト」の連携協力

2 企業の経営安定に向けた伴走型の経営支援

- (1) ワンストップ経営相談窓口による総合的な経営支援
- (2) 企業の安定経営に向けた支援事業の実施
- (3) 地域の経済と産業を担う人材の育成
- (4) 企業経営の安定・発展につながるビジネス情報の発信

3. 登別商工会議所組織基盤の強化

- ① (1) 会員数拡大による組織力の強化
- (2) 部会・委員会の活動をベースとした組織的な事業推進
- (3) 会員サービスの品質向上による組織の魅力向上
- (4) 事務局機構のDXによる事務の効率化
- (5) 機能的な事務局組織の編成と事務局職員の資質向上による実行力の強化
- (6) 登別商工会議所会館の補修による諸事業(事務)の継続性維持
- (7) 関係団体等への活動支援